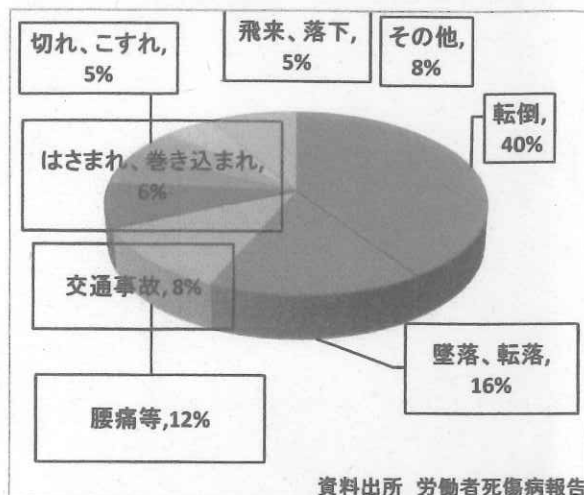


# ～商業の労働災害を防止しよう～ 別添1

## 宮崎労働局からのお知らせ

### 商業における死傷災害（休業4日以上）の発生状況

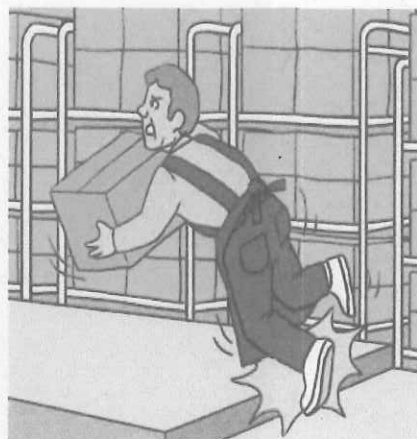
(1) 事故の型別【平成30年（平成31年2月末速報値）、168人】



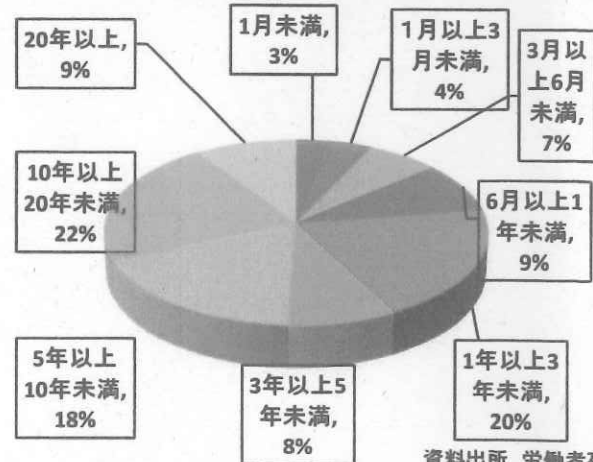
商業の労働災害(事故の型別)の発生状況を見ると、「転倒」が40%、「墜落、転落」が16%、「腰痛など」が12%の順に多く発生しています。

転倒しただけでは、大ケガにつながらないように思われるかもしれませんが、転倒による骨折で、休業が3か月以上に及ぶケースもあります。

そこで、「つまずきやすい」、「滑りやすい」ところにステッカー等で注意喚起を行い、転倒による労働災害防止の対策を講じましょう。

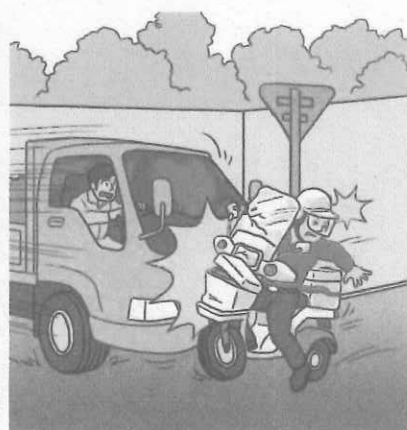


(2) 経験年数別【平成30年（平成31年2月末速報値）、168人】



また、経験年数別の発生状況を見ると、「3年未満」の方が、全体の43%を占めています。

経験年数の浅い労働者が、被災する割合が高いため、労働災害防止の取組として、法令で実施の義務付けがある「雇入れ時の安全衛生教育」を徹底するほか、「4S(整理・整頓・清掃・清潔)活動」、「KYT(危険予知訓練)」などを行いましょう。



【問合せ先】宮崎労働局労働基準部 健康安全課

イラスト資料出所 労働安全衛生総合研究所「小売業の労働災害を防止しよう」